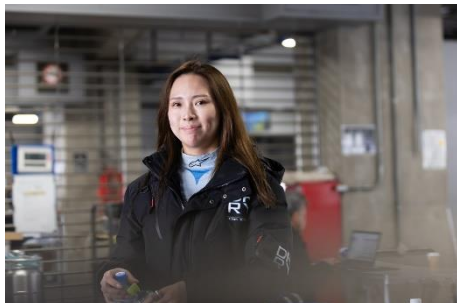


2025 年 3 月 13 日

第 2 回のテストは初のウェットコンディション 下野璃央が総合トップタイムを記録 ～2025 KYOJO CUP 第 2 回合同テスト～



2025 年の KYOJO CUP 第 2 回合同テストが 3 月 11 日(火)、12 日(水)の 2 日間にわたり富士スピードウェイで開催された。あいにくの雨模様となったが、今シーズンの KYOJO CUP に参戦するドライバーたちは初のウェットコンディションで走行を重ね、#86 下野璃央(ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL with Dr.DRY)が総合トップタイムを記録した。

【Session 1】

前回のテストから約 3 週間のインターバルをはさみ、気温 10 度、曇り空のもと 10 時 10 分から行われたセッション 1 は、直前までの降雨によってドライとウェットが混在するなかで走行が開始。フォーミュラカー導入後初となるセミウェットでの走行となったため、スピンやコースアウトが危惧されていたもののテストは順調に進行。第 1 回合同テストで総合トップを獲得した下野が序盤からトップタイムをマークし、最終的には 1 分 44 秒 847 までタイムを縮めて第 2 回合同テストの初回セッションを制した。

2 番手にはラストアタックで 1 分 45 秒 353 を記録した#7 翁長実希(Kids com Team KCMG)、3 番手には 1 分 45 秒 853 を記録した#1 斎藤愛未(TOM'S)が続くトップ 3 となった。



【Session 2】

11 時 30 分から行われたセッション 2 は、開始直前に雨が降り出し、気温 11 度、引き続きウェットコンディションのなかで走行が開始。雨の影響もあり、多くのドライバーがアウトラップを終えて再びピットに戻るなか、コース上にとどまった斎藤が 2 分 12 秒 937 を記録してトップに浮上。雨のなかで着実に周回を重ねていった。雨の弱まりとともに徐々にコースに復帰するドライバーが増えるなか、下野、#53 池島実紅(TGM Grand Prix)、#55 織戸茉彩(TGM Grand Prix)の 3 名はピットでの待機を選択。このセッションではコースに戻ることはなく、天候がさらに崩れる予報の明日に備え、レインタイヤ温存するかたちとなった。一方で走行を再開したドライバーたちは次々に自己ベストタイムを更新。#32 金本さきい(ミハラレーシング)、翁長、#8 佐々木藍咲(Kids com Team KCMG)、#37 ハナ・バートン(TOM'S)が好走を見せるなか、残り 1 分に#46 永井歩夢(DOJO racing)が 1 分 49 秒 752 のトップタイムを記録。翁長がラストアタックで自己ベストタイムを更新して 2 番手、前回のテストから好調な佐々木が 3 番手につづき、Kids com Team KCMG の 2 台がトップ 3 に入る結果となった。



【Session 3】

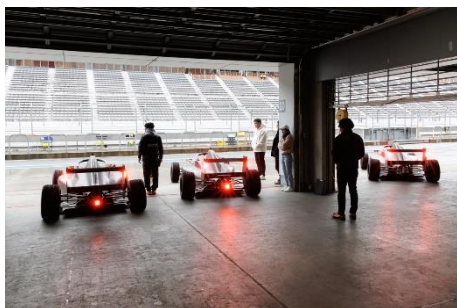
雨が降り続き、午前よりも気温が下がるなか 14 時 10 分から開始されたセッション 3 は、序盤から完全なウェットコンディションとなり、各車ウェットタイヤを装着してコースに入っていく。まずは下野がトップタイムをマークし、翁長、#33 岩岡万梨恵(FUKUDA racing)がそれぞれ 1 分 56 秒 499、1 分 57 秒 917 を記録して 2 番手タイムを更新しあう展開に。セッションが中盤に突入すると、永井が 1 分 55 秒 523 で 2 番手タイムを更新。終盤には CERUMO・INGING の#38 佐藤こころと#39 富下李央菜の 2 人が好走を見せるもラストアタックで永井が 1 分 53 秒 966 で 2 番手、翁長が 1 分 53 秒 990 で 3 番手につづいた。下野のタイムは最後まで塗り替えられることはなく、通算 9 回目のトップタイムを獲得して初日 3 本目のセッションが終了した。



【Session 4】

気温 10 度、引き続き雨が降るウェットコンディションのなか 15 時 40 分から行われたセッション 4 は、計測 1 周目を終えた下野が 1 分 54 秒 726 でトップタイムをマーク。中盤にはセッション 3 の自己ベストを上回るタイムを記録し、最終的には 1 分 52 秒 963 までタイムを縮めた。

一方 2 番手には、序盤から自己ベストを更新する翁長がつづくが、残り時間 10 分を切ると佐藤が 1 分 53 秒 840 をマークして 2 番手に浮上する。残り 3 分、翁長がセッション 3 の自己ベストを上回る 1 分 53 秒 320 を記録して再び 2 番手に。テスト初日最後の走行は下野、翁長、佐藤が続く結果となった。



【Session 5】

2 日目の初回走行となるセッション 5 は気温 12 度、霧雨が降るウェットコンディションのなか、10 時 10 分から走行が開始。まずは下野が 1 分 54 秒 212 を記録してトップに立つと、そのままセッションをリード。1 分 52 秒 963 までタイムを縮め、このセッションでもトップとなった。

各車ウェットタイヤを装着しての走行ではあったものの、コース上の雨量は昨日よりも減少。

昨日の全セッションで常にトップ 3 以内のタイムを更新していた翁長は、計測 1 周目を終えた時点で 3 番手タイムを記録。ラストアタックで 1 分 53 秒 239 までタイムを縮めて 2 番手となった。3 番手には中盤に好走を見せた佐藤がつづき、ラストアタックで 1 分 53 秒 370 を記録した。



【Session 6】

雨はほぼ止み、気温 13 度というコンディションのなか行われた 11 時 30 分からのセッション 6 は、計測 1 周目に下野が 1 分 53 秒 870 でトップタイムを記録。今回のテストで好調な翁長も 3 番手タイムを記録し、このセッションでも下野と翁長が上位につける構図となる。残り 3 分を切ると再び雨が降りはじめ、コース上の雨量が徐々に増えるなか、下野が 1 分 52 秒 187 までタイムを削ってセッショントップ、翁長も最終アタックで 1 分 52 秒 881 を記録して 2 番手となった。

3 番手には終盤に 1 分 53 秒 007 を記録した佐々木が続き、午前のセッションは終了した。



【Session 7】

14 時 10 分から行われたセッション 7 では正午から降り出した雨が本降りとなり、本格的なウェットコンディションのなかで走行が開始。このセッションでは車両確認のため、#12 細川由衣花(CSA racing)の車両に坪井翔が乗車した。

まずは下野が 1 分 58 秒 168 でトップタイムをマークし、2 番手に翁長がつづく。このセッションでは翁長が好走を見せ、開始 13 分に 1 分 56 秒 558 を記録してトップに浮上。ラストアタックで 1 分 54 秒 722 までタイムを削り、このセッションをトップで終えた。

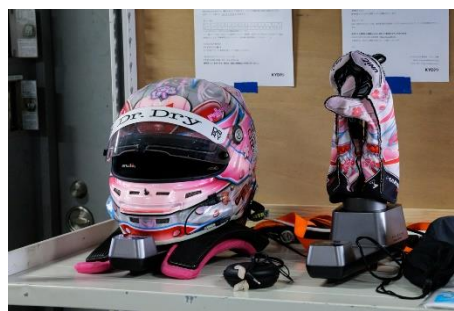
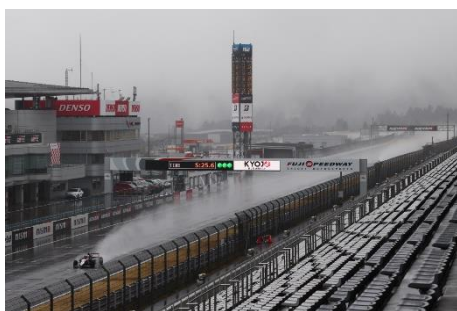
下野も好ペースで周回を重ねるがトラフィックに悩まれ、思うようにタイム更新がかなわず。1 分 55 秒 153 を記録して 2 番手につけ、3 番手には 1 分 55 秒 351 を記録した佐々木が続くトップ 3 となった。



【Session 8】

セッション 8 では当初スタート練習が予定されていたものの大雨によって中止に。気温 13 度、本降りの雨が降り続くウェットコンディションのなか、10 分遅れの 15 時 40 分から通常のテスト走行が開始された。

序盤は佐々木が 1 分 56 秒 185 でトップタイムを記録。2 番手に 1 分 55 秒 936 で翁長が続き、Kids com Team KCMG の 2 台が好走を見せた。開始 8 分、#87 山本龍(Autolook Racing Factory)と#57 チョウ・ウンチン(Buzz Racing)の 2 台が絡むアクシデントが起き、セッションは赤旗中断となる。残り 9 分で走行再開、多くのドライバーがベストタイムを更新していきながら、翁長が最終アタックで 1 分 55 秒 334 をマーク。セッション 7 に続いてトップタイムを記録した。2 番手には 1 分 55 秒 668 を記録した斎藤、3 番手に佐々木が続き、序盤に記録したトップタイムがそのまま 3 番手タイムとなった。なお、第 2 回合同テストのトップタイムはセッション 1 で下野が記録した 1 分 44 秒 847 となり、前回のテストに引き続き、総合トップの座を獲得した。



Driver'sVoice

第 2 回合同テスト総合トップ

#86 下野璃央(ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL with Dr.DRY)

「とりあえず、今回もトップをとることができて良かったです。でもここまでトップできているので、プレッシャーを感じています。今回はウェットコンディションでのテストになりましたが、いろいろなことが分かったので、雨の中でテストができてよかったと思います。次回のテストでも、このままトップを守り抜きたいです」